

シグマ研究委員会ガンマ線生成核データ W. G .
昭和 59 年度 第 2 回 会 合 議 事 録

1. 日 時 昭和59年 8 月 24 日 (金) 13 : 30 ~ 17 : 30
2. 場 所 原研本部第 6 会議室
3. 出 席 者 浅見 (哲) , 五十嵐 , 水本 (原研) , 川合 , 肥田 , 山室 (NAIG) ,
井頭 , 北沢 , 播磨 (東工大)

4. 議 事

- (1) FNS による積分実験の解析のために, ^9Be , N , ^{19}F , ^{27}Al , Si , Mo , Zr , Pb , ^{209}Bi のガンマ線生成核データが要求されているという報告が浅見 (哲) 氏からあった。
- (2) ^{181}Ta のガンマ線生成核データの評価について, JAERI-memo 59-262 に基づいて, 山室氏から話を聞いた。中性子捕獲ガンマ線データ ($E_n = 0.0253 \text{ eV} \sim 700 \text{ keV}$) は CASTHY-V コードに基づき, 弾性外反応ガンマ線は NGROGI コードを用い評価が行なわれ, 実験と計算のかなり良い一致が得られた。その際, observed level density の代わりに observable level density を用いることの必要性が強調された。